

あきる野民報

発行責任者/松平重幸 TEL&FAX 558-0718

住民の利益をまもり、「住民こそ主人公」のあきる野市政実現をめざして!

2007.7.8 No.466毎月2回発行)

日本共産党あきる野市委員会は次の見解を発表しました。



日本共産党参議院東京選挙区予定候補

東急前で・6月28日夕・聴衆120人

田村智子さん、気迫の訴え!

6月28日夕方、買物の人々が行き交うあきる野東急前で日本共産党の街頭演説会が行われ、日本共産党参議院東京選挙区予定候補の田村智子さんが、120人の聴衆を前に気迫のこもった訴えをしました。

最初に、あきる野在住で3人のお子さんのお母さんである田村あずみさんがお子さんを連れて壇上に登場。母親の立場から、またこの子らのためにも「田村智子さんを国会へ是非に」と応援の言葉をのべました。

住民税増税の中止を

次に日本共産党あきる野市議員の戸沢弘征さんが、市役所や議員団に増税への怒りの声がたくさん寄せられていると報告しながら、次のように訴えました。

「最初に、あきる野に住で3人のお子さんのお母さんである田村あずみさんがお子さんを連れて壇上に登場。母親の立場から、またこの子らのためにも「田村智子さんを国会へ是非に」と応援の言葉をのべました。」

改選派に東京の議席を独占させ

また、平和憲法9条を孫子の世代に無傷で引きついでいくためにも、東京で憲法を守る唯一の議席を守るため、熱心な支持者や買い物途中に足を止めた方、また、田村さんの話を一度聞いてみたいと、集った方は様々ですが、最後までその訴えに聞き入っていた皆さんの方から「がんばれ」「私も頑張りますよ」との声が飛び交いました。

声

二宮在住 片野坂勝代

海軍に徴兵された父の口癖は「戦争だけは何かあってもしてはいけない」だった。戦中の苦勞を聞いたたびに「どうして戦争は嫌だ」とみんなで言わなかったの、と幼い私は聞いた。「そんなこと言ったら牢屋に入れられてしまう」が、答えた。議論の自由も女性参



こどもごらし
せつかく「かわいいねえ」と言っている人をにらみつける、泣く、隠れる。親としてはもうしわけなくて困っちゃいますが、どうしようもありません。

1人目だから、甘やかすから、人の出入りが無いから、外に連れて行かないから...いろいろ言われますが、わたしは関係ないと思います。ただの個人差。

おとなにもいろんなひとがいるように、こどもだっていろんなひとがいるのは当たり前。なのに、育て方に問題があるように言われるのは残念。「そのうち落ち着くよ、気にしないで」と言ってもらえたらうれしいのに。激しく人見知りだったむすめ現在6歳、今ではちゃきちゃき姉さんです。(07.7.8)

たばた あずみ
連絡先は☎550-6674

野良望

40年前の職場の先輩Kさんから先日手紙が届いた。いつも党に手厳しい批判をくれる先輩だ。今回もいくつかの苦言を呈して、「でも『赤旗』のためになるな」と思うのは、9条の会が続々と日本中に広がりに追いついてます。とくに面白いのは革新系の人々の範囲を越えて、保守系、ノンポリの人々の間にどんどん広がりに追いついてます。これはとてもいい傾向ですね。中央紙はこの9条の会の目覚ましい広がりをよく黙殺している。つまり朝毎・読ら中央紙は、国民の側にはつきりと軸足を据えていないということですね。あと「赤旗」でいいのは「いま言いたい」シリーズのように、本来保守系の人や体制側の人、あるいはノンポリの人たちが、9条を守る立場に移ってきたエピソードを語ってくれる記事ですね。こういう話こそ効果がありますね。」と書いておいて「さて、面白くない『赤旗』をなぜ取っているのかと聞かれると...」と続きます。頼みますよ、Kさん、40年来の付き合いです、素直になつてよ。(紀)

市民のための市長を選ぼう！

市民フォーラム開く

あきる野市民フォーラム



会場からの発言があいついだ市民フォーラム

「温泉問題を考える会」(代表・竹之内)が『広い市民組織を』と呼びかける

6月30日、中央公民館・研修室で開かれた『市民フォーラム』には緊急の呼びかけにもかかわらず、各分野の団体・個人の方、50人余りが参加して、秋の市長選挙に向けて積極的な取り組みをしようという熱心な討論が行われました。

呼びかけ人代表によって、おおよそ、次の事がまとめられました。

- 会の目的は市民のための市政実現へ力を会わせる会とする
- 個人として誰でも参加できること
- 各種団体にも参加を呼び掛ける。
- 幹事を決めて、幹事会を7月7日午後2時から開くこと
- 今日から幹事会までに自薦、他薦の市長候補を受け付ける

山神二題
減税の種を明かせば 大増税
民営化 国の責任 チャラにする

西川 昇

「憲法まもれ」——新たな出発にむけて④

草花在住 田中 義夫

参院選で憲法を語る

七月の参議院選挙は、敗戦後最も重要な選挙となるであろう。年金、格差、貧困、教育等とならんで憲法が大きな争点となるであろうからである。自民党は、憲法改定を選挙公約に掲げた。

安倍首相は、現行憲法はアメリカの押しつけ憲法であり、日本人の手で新しい憲法をつくりたいと言っている。しかし、映画「日本の青空」に描かれたように、日本国憲法には憲法研究会の憲法草案をはじめ、自由民権運動以来の日本

人民の憲法理念が基本にあることは紛れもない事実である。しかも、六十年間、国民の生活に根づいてきた。この憲法のおかげで、私たちは曲がりなりにも安心して平和に暮らしてこられた。

一方、改憲を公然と唱える安倍自民党は、日米同盟重視の立場からアメリカの圧力に屈し、集団的自衛権の名の

もとアメリカの引き起こす侵略戦争に自衛隊を参戦させるために世界の宝である日本の誇りである憲法9条を愛えようとしている。これをこそアメリカの押しつけでなくして何であろう。

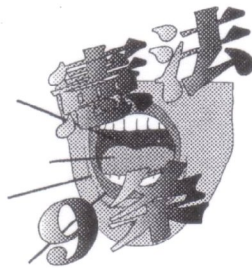
さらに自民党の新憲法草案は、基本的人権を「公益」、「公の秩序」のために制限できるという立場であり、現行

憲法の「公共の福祉に反しない限り」最大尊重される、と比べ大きな後退である。憲法が改悪されたら、私たちがいま享受しているこの自由な市民生活が脅かされかねない。いまこそ、結党以来反戦平和と国民の幸福実

現を党是としてきた日本生産党の出番である。

参院選を前に、マスコミは報道記事や世論調査で自民民主の二大政党キャンペーンを張っている。しかし、両政党とも改憲政党である。社説で憲法擁護を主張しても、改憲政党の旗ふりをしたのでは底が割れるというものだ。

二大政党以外にこそ、自由平和、民主主義を守り発展させて行く確かな野党が存在することを、有権者に粘り強く訴えてゆくことが時代の要請となっていることを共に確認したい。



後援会だより

東地区後援会総会を開催

■時 7月29日(日)午後2時
■所 二宮・森さん宅

▼2部(3時頃)では、三線とギターによる歌と演奏があります。地域外の方も歓迎しますので、聞きに来てください。(事務局)

絵手紙/神崎茂子さん・瀬戸岡在住



俳句

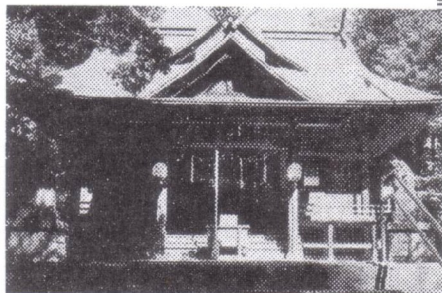
蝸牛傘に道はせて児の遊ぶ (やす子)
梅雨雲や家路に母子の足早め (ルリ子)
厨口開けて緑と鳥の声 (静子)
百足虫打つシャベルに込めし底力 (淑子)

ニトマートの支柱を伸ばし雨を待つ (勝代)
和服きて蛇の日さし行く葛蒲園 (翠代)
プラタナスの街路樹つぎ梅雨に入る (忠治)
七変化いま赤々と雨に立つ (かほる)
羊を背負ひし日あり堂侍 (秀治)

地名考・五日市③

第46回

歴史探訪



阿伎留神社

通常の市の開催日は、例えば二日市の場合、二日・十二日・二十二日の月に三回、三日市の場合三のつく日の月三回とされています。五日市は「新編武蔵風土記稿」にあるように、五と十のつく日、月六回開かれました。中世に物資交換として始められた市が徐々に発展、江戸期に入って江戸の町の人口増加に伴う大消費都市の需要は、五日市周辺の炭を特に必要としました。これが仲買人を通じた新しい炭市として規模を一変してゆきます。従って月三回の市では供給が足りず、十のつく日も加えて月六回開催の市として発展を遂げてゆきます。

「風土記稿」は「昔、五日市は小庄村であった」と記しています。阿伎留神社を中心とした河岸的段丘の小さな小庄村が、市の発展に伴い近隣の村々からの人口流入や、養沢村・乙津村・戸倉村・留原村などを巻き込みながら、地域を拡大し五日市村の形成が進んでゆきました。江戸初期に五日市を大きく変貌させたのは、江戸への供給としての炭の生産であり、生産者は周辺の村々でした。(続く)

草花 木崎秀治